



酒田工場(下瀬)左より常圧蒸留塔、加熱炉



工場長代理
加藤 淳さん

市内企業の優れた技術力や製品、
サービスを紹介します。



日本海側唯一の国産原油精製工場

石油化学製品の原料となる原油のほとんどは海外で採掘されますが、庄内地方でも昭和16年ごろから本格的な採掘が行われています。当社では、庄内町余目地区の油田から産出される原油の精製を行っています。

原油は沸点の違う炭化水素の混合物であるため、用途に合わせて各成分に分離させる必要があります。

比重が軽い成分から順次蒸発する性質を利用し、加熱した原油を蒸留塔内へ投入し蒸気化させると、沸点の低い順に上部からナフサ（ガソリンの原料）、灯油、軽油、重油の順で各層へ分離します。その後冷却し再び液体になった各成分を回収します。上の写真のような蒸留塔があるのは、日本海側では当社が唯一です。

廃油のリサイクルにも取り組む

原油精製を行う一方、会社設立時から車のエンジンオイルや工作機械の潤滑油などのリサイクル事業にも取り組んでいます。回収した廃油から金属くずを除去し、遠心分離機で水分を脱水し再生重油にしています。当社で作られた石油製品や再生重油は、主に県内の工場や農業用加温ハウスの燃料として使用されています。

【企業の概要】

沿革 昭和48年北日本オイルとして会社設立、工場を酒田市下瀬に開設、昭和53年石油資源開発株の傘下になる。平成9年余目事業所を開設、平成12年本社事務所を山居町に移転
商号 北日本オイル株式会社
資本金 8,000万円
住所 酒田市山居町二丁目14-5 ☎24-0321
代表取締役社長 青山 栄享
従業員数 46人
事業内容 国産原油の精製販売、再生油の製造販売など
ホームページ <http://www.kitanihonoil.co.jp/index.html>



左より原油(黒色)、ナフサ(透明)、A重油(黄色)、B重油(黒色)。比重が重い成分ほど色が濃くなります。



石油資源開発株余目油田(庄内町余目)の様子。地下1千メートルから採掘された原油を、当社で精製しています。

新刊紹介

図書館 ☎24-2996

一般図書

干支とかぶとを折る
松野幸彦/作 日本折紙協会/編
日本折紙協会



シンプルな形での表現と、スマートな折りの行程が特徴の、松野幸彦のおりがみ作品集。お正月の飾りなどに使える、十二支の動物の折り方をイラストで丁寧に解説。かぶとや収納台など、十二支以外の作品も取り上げます。

中高生向け

レントゲン
風野潮/著 ぢゅん子/画
講談社



橘廉太郎と弦次郎は年子で同じ学年の高校1年。バイオリンに賭けている弟・弦次郎と違い、もう二度と楽器は弾かないと決めていた兄・廉太郎だったが、しつこくギター部に誘われ…。音楽青春小説。

児童絵本

いちばんちいさなクリスマス
プレゼント

ピーター・レイノルズ/ぶん・え
ながわちひろ/やく
主婦の友社



クリスマスの朝、飛び起きてプレゼントを見に行ったローランドは、がっかり。1年間ずっと楽しみにしていたのに、プレゼントはこれまでで一番小さかったのです。ローランドが「大きなプレゼントに変えてください」と願うと…。

◆図書館の本はインターネットでも検索できます。ホームページのアドレスは、<http://library.city.sakata.lg.jp/>